

4 フェーズ2システム実現内容（設計開発等事業者提案書抜粋）

格納システム及び付加情報管理システム 土地・ヒトの予測情報を統合し、将来の農地集積ビジョンをシミュレート

フェーズ1の実績に基づき、大量データに対してストレスのない高パフォーマンスなシステムを提供します。さらに「人・農地プランの図面」を支援する農地集積シミュレーションの実現案をご紹介します。データの通信方向を一方向にすることでデータの保全を図ります。

農業委員会等で管理している情報が一元的に見えるようになり、事務作業等の負荷を飛躍的に軽減することができます。各農業委員会等利用システムと設計を共通化することで工期短縮と品質を確保。さらに付加情報システムと連携し様々なデータ形式を取り込めるようAPIの利用で拡張性を考慮した構築をいたします。GISシステムの3D機能との連携により優れた予測が可能となります。



農地台帳・地図情報に以下の土地・ヒトの予測情報を統合表示することで将来の農地集積（農地利用権）の予測を立てます

<土地>

- 遊休農地化予測
- 耕作放棄地予測
- 荒廃農地化予測

土地耕作者の年齢、後継ぎ有無、意向、貸借期限等から遊休農地・耕作放棄地・荒廃農地となる時期を予測

農地中間管理権の付与予測

上記予測情報から農地中間管理権が付与される時期を予測（後に利用配分を計画）

<ヒト>

- 新規就農者・新規参入者・認定農業者の経営規模拡大予測
- 土地の予測情報から新規就農者・新規参入者・認定農業者の5年後・10年後の経営規模拡大を予測

農地台帳・地図システムに以下の機能を実装し、フルリンクによるリアルタイムな集積シミュレーションを実現します。

<集積シミュレーション機能>

- シミュレーション用地図データの保存・呼び出し（地図機能）
- シミュレーション条件の複数保存・呼び出し（台帳機能）
- シミュレーション用属性情報の修正・検索（台帳機能）